

防災・安全

災害用備蓄品、安全衛生保護具のことなら!!

日本乾溜工業株式会社 大分防災安全部

“もしもの時”は明日かもしれない。

■大分市横田2丁目12番23号
 ■TEL:097-524-3700 ■FAX:097-524-3702
 ■営業時間/8:30~17:30 ■定休日/土・日・祝
 ■URL:http://www.kanryu.co.jp/

飲食

2図 B-1

四季彩 **銀ノ塔**

■別府市天満町2-8
 ■TEL:0977-27-0033

寺院

13図 B-5

浄土真宗本願寺派
天間山 正圓寺

お茶の花又は多くの果樹園の花が咲く自然の中に
 永代用の納骨堂がありますので、見学くださいませ。

■別府市天間151番地
 ■TEL:0977-67-7320 ■FAX:0977-67-7870

飲食

2図 B-1

本場インド料理 **プルニマ**

■別府市西野町13-20-1F ■TEL:0977-21-2558
 ■営業時間 Lunch 11:00~15:00 Dinner 17:00~22:00
 ■年中無休 ■URL:https://www.purunima.net

風水害対策

台風や大雨・強風に対してあなたの家の対策は万全ですか？
 家の中や周囲の確認をしておきましょう。

屋外の安全対策

- 屋根**
瓦やトタンにひび・割れ・すれ・めくれ・はがれがないようにしましょう。
- 外壁**
モルタルの壁に亀裂や、板壁に腐りや浮きがある場合は補強しましょう。
- 窓ガラス**
ひび割れ、窓枠のガタつきがないか確認し、強風による飛来物に備えて外側から板でふさぐなどの対策をしましょう。
- 塀・門柱**
ひび割れや破損箇所がある場合は補強しておきましょう。
- ベランダ**
鉢植えや物干し竿など、飛散する危険が高いものは室内に入れるようにしましょう。
- 雨どい**
落ち葉や土砂が詰まったり、継ぎ目はすれや塗装のはがれ、腐りがないか確認しましょう。
- 雨戸**
雨戸にガタつきやゆるみがないか確認しましょう。

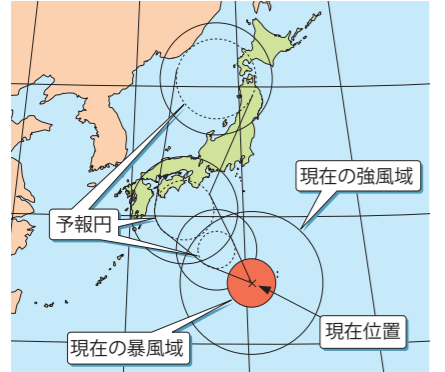
屋内の安全対策

- テレビやラジオ、インターネットで最新の情報を入手する。
- 不要不急の外出をしない。
- 避難に備えて貴重品などの非常持ち出し品の準備をしておく。
- 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの準備をしておく。
- 断水に備えて飲料水を確保しておく。
- 浸水などのおそれがあるところでは、家財道具や食料品・衣料・寝具などの生活用品を高い場所へ移動する。
- 子どもや高齢者、病人、障がい者等の要配慮者は早めに安全な場所へ避難する。



台風について

日本周辺では平均で年約26個の台風が発生しており、別府市にも毎年いくつかの台風がやってきます。また、台風が接近または上陸すると強風や大雨により度々大きな被害をもたらします。台風は襲来時期や規模、進路等がある程度予想することができます。最新の情報を入手し、被害が出ないように備えましょう。



風の強さと被害の目安

平均風速(毎秒)	想定される状況・被害
10~15m	傘がさせず風に向かって歩きにくい。
15~20m	風に向かって歩けず転倒する人も出る。
20~25m	しっかりと身体を確保しないと転倒する。屋根瓦が飛散するものがある。
25~30m	立っていられず屋外での行動は危険。看板が落下・飛散する。樹木が倒れ始める。
30m以上	屋根が飛び、住宅で倒壊するものがある。

※気象庁資料より参考

り災証明書(地震・風水害) ※火災によるり災証明書は消防本部警防課にて交付

り災証明書とは地震・津波・風水害等の自然災害によって生じた被害について調査を行い、証明書を交付するものです。オンラインでの交付申請が可能になりました(マイナンバーカードが必要)。(申し込み・問合せ先) 防災危機管理課 ☎21-2255

詳細はこちらから↑

集中豪雨

集中豪雨は短時間のうちに狭い地域に集中して降る雨のことで、梅雨の終わり頃によく起こります。狭い地域に突発的に降るため、その予想は困難です。中小河川の氾濫や土砂災害などによる大きな被害が予想されます。気象情報に十分注意し、早めの避難など万全の対策をとるようにしましょう。



雨の強さと被害の目安

1時間の雨量(mm)	想定される状況・被害
10~20mm	雨の音で話し声が良く聞き取れない。この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。
20~30mm	どしゃ降りや側溝や下水、小さな川があふれ小規模のがけ崩れが始まる。
30~50mm	バケツをひっくり返したような雨が降り、山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。
50~80mm	滝のように雨が降りマンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすく、多くの災害が発生する。
80mm以上	息苦しくなるような圧迫感があり、大規模な災害の発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要。

引用：気象庁ホームページ

土砂災害

土砂災害は、がけ崩れ・土石流・地すべりといった自然現象により、住民の命や財産に影響が及ぶことをいい、地震や雨により発生しやすくなります。土砂災害の発生するおそれのある危険箇所・災害の兆候などを確認し、危険を感じたら直ぐに避難するようにしましょう。

【がけ崩れ】

がけ崩れは、急な斜面が大雨や長雨によって緩み、突然崩れ落ちる現象で、避難が遅れがちになります。

【土石流】

土石流は谷や溪流から、土砂や石、木を含んだ濁流が一気に下流へと押し流される現象で、速度が速く大きな破壊力を持っています。

【地すべり】

地すべりは広い範囲の地盤がゆっくりと動き出す現象で、速度はゆるやかですが、発生すると大きな被害をもたらします。

■前兆現象

- がけから水が湧きだす。
- がけに亀裂が入る。
- 小石がパラパラと落ちてくる。

■前兆現象

- 山鳴りがする。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- 川の流れが濁ったり流木が混ざり始める。

■前兆現象

- 地面がひび割れたり陥没する。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 斜面から水がふき出す。

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の指定(大分県が行う)

土砂災害警戒区域
土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域を県が指定。

土砂災害特別警戒区域
土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域を県が指定。特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制が行われます。

早めの避難と日頃の備え

- 日頃から地域を知り、早めの避難を心がけることが命を守ります。
- 避難所の確認や安全な避難路の確保など、いざという時に備えましょう。

※水防法の改正等により、要配慮者が利用する施設は避難確保計画の作成が義務となりました。